■ サポートのご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べる

mylo本体および付属ソフトウェアの最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

http://www.sony.co.jp/mylo/support/

電話で問い合わせる

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● 0466-30-3080

受付時間：平日 10時～18時（年末年始を除く）
土、日、祝日は受け付けしておりません。

お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。

修理を依頼されるときは

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。ネットコミュニケーションカスタマーリンクへお電話ください。

ソニー株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

2668392010

SONY®

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書と「リファレンスマニュアル」（PDF、付属のCD-ROMに収録）には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**本書と「リファレンスマニュアル」（PDF）をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

2-668-392-**01**(1)

Personal Communicator COM-1
スタートアップガイド

⚠警告 安全のために

54 ～ 61ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

定期的に点検する

1年に一度は、電源コードに傷がないか、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにネットコミュニケーションカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

➡

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす
3. ネットコミュニケーションカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する

データはバックアップをとる

内蔵メモリー内などに保存された内容は、付属のソフトウェア（mylo Utility）などを使用し、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても、記録内容の補修や修復は致しかねますのでご了承ください。

目次

お使いになる前に必ずお読みください

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：COM-1

電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

無線の周波数について

本製品は2.4GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1）本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認して下さい。
2）万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）して下さい。
3）不明な点その他お困りのことが起きたときは、ネットコミュニケーションカスタマーリンクまでお問い合わせ下さい。

2.4DS4

この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

内蔵メモリーおよび“メモリースティック デュオ”のバックアップについて

データ転送中にパソコンとの接続ケーブルを外したり、アクセスインジケーター点灯中にバッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したりしないでください。内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”のデータが壊れることがあります。データ保護のため、必ずバックアップをお取りください。

液晶ディスプレイについてのご注意

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠け等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

ACパワーアダプター使用上のご注意

- 容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- 本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

付属のソフトウェア使用許諾について

本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。

第三者から提供されるサービスについてのご注意

本製品でご利用頂けるサービスには、Skype、Google Talk、PLAYLOGのように第三者から提供されるサービスが含まれます。当社は、これらのサービスに関して如何なる保証(これらのサービスの機能、性能、継続性に関する保証を含みますが、これに限定されません。)も致しません。これらのサービスは、予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。

ワイヤレスLAN製品使用時のセキュリティに関するご注意

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

緊急電話サービスに関するご注意

インターネット電話は本来の電話サービスに取って代わるものではありません。緊急電話には使用できませんので、あらかじめご了承ください。

記録内容や機会損失などの補償はできません

- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 万一、本機や記録メディアなどの不具合により、保存や再生などができなかった場合、記録内容の保証については、ご容赦ください。
- 本機の保証条件については、本書の「保証書とアフターサービス」をご参照ください(☞62ページ)。

本書について

- 本書で使用している画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 本書の内容の全部または一部を複製すること、および賃借することを禁じます。

PDFマニュアルの紹介

スタートアップガイド(本書)では、パーソナルコミュニケーター COM-1 (mylo)のセットアップのしかたや基本操作など、本機を使うための基本的な情報を説明しています。
各機能の詳しい操作やトラブルシューティングなどはCD-ROM (付属)に収録されている「リファレンスマニュアル」(PDFファイル)をご覧ください。

付属品を確かめる

- パーソナルコミュニケーター(本体)

- マイク・着信スイッチ付接続コード

- USBケーブル

- リチャージャブルバッテリーパック

- ACパワーアダプター

- CD-ROM(「リファレンスマニュアル」(PDFファイル)/ソフトウェア)

- バッテリーケース
- スタートアップガイド(本書)
- キャリングポーチ
- 保証書
- myloカルテ
- ソフトウェア使用許諾契約書

主な機能

myloは、ワイヤレスLANでインターネットコミュニケーションを楽しめるパーソナルコミュニケーターです。ここでは、myloの主な機能を紹介します。それぞれの機能について詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）をご覧ください。

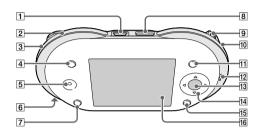
myloを使って、チャットやWeb閲覧、ブログ、SNS、音楽、画像などを楽しめます。

マイク・着信スイッチ付接続コード（付属）と、ヘッドホン（別売）を使って、Skypeでインターネット電話を楽しめます。

myloのスピーカーとマイクでもインターネット電話を楽しめます。

mylo同士で通信して、お互いのmyloに保存されている音楽を聞けます。

各部の名前と働き

前面

1 (USB)コネクター（☞20ページ）

本機をパソコンに接続します。

2 WIRELESS LAN（ワイヤレス ラン）スイッチ／インジケーター（☞24、27ページ）

ワイヤレスLANを起動します。ワイヤレスLANが起動すると、インジケーターが点灯します。

3 "メモリースティック デュオ"アクセスインジケーター（☞16ページ）

"メモリースティック デュオ"にデータを書き込んだり読み込んだりしているとき点滅します。

4 INFO（インフォ）ボタン（☞33ページ）

SkypeやGoogle Talkの新着情報（受信メッセージなど）を表示します。
2回押すと、再生中の音楽の詳細情報（曲名など）を表示します。

5 スピーカー

インターネット電話中、相手の声が聞こえます。

6 POWER（パワー）スイッチ／インジケーター（☞21ページ）

本機の電源を入／切できます。電源が入っているときは、インジケーターが点灯します。

CHARGE（チャージ）インジケーター（☞19ページ）

本機が充電中または充電待機時、インジケーターが点灯します。バッテリーが完全に充電されると消灯します。

7 HOME（ホーム）ボタン（☞30、32ページ）

Homeメニューを表示します。
長押しすると、What's Up画面を表示します。

8 (ヘッドセット)ジャック（☞15ページ）

マイク・着信スイッチ付接続コード（付属）を接続します。

9 DC IN 6V ⊖◉⊕ ジャック(☞19ページ)

ACパワーアダプター（付属)を接続します。

10 ステータスインジケーター（☞24、27ページ）

ワイヤレスLANをインフラストラクチャーモードで起動すると青色に、アドホックモードで起動するとオレンジ色に点灯します。

11 OPTIONボタン(☞31ページ)

現在行っている操作のOPTIONメニューを表示します。

12 マイク(☞xxページ)

インターネット電話に使用します。

13 センターボタン

項目を選択したり、入力を確定したりします。

14 十字ボタン(△/▽/◁/▷)

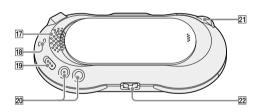
項目を選択したり、カーソルを移動したりします。

15 BACKボタン

一つ前の画面に戻ります。

16 液晶画面

本機を使用する前に、保護シートを取り外してください。

裏面

17 スピーカー

音楽やビデオ、インターネット電話の着信音などが出力されます。

18 ストラップ取り付け部

落下防止のため、ストラップ(別売)を取り付けてください。

19 HOLDスイッチ

本機の操作を無効にします。

20 VOL +/−ボタン

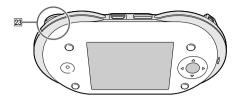
音量を調節します。

21 "メモリースティック デュオ"スロット(☞16ページ)

カバーを開いて、"メモリースティック デュオ"を抜き差ししてください。

22 ジョグレバー（►/■/I◄◄/►►I)

音楽の再生／停止、再生中の曲や前の曲、次の曲の頭出し、早送り、早戻しができます。ビデオの操作も同様に行えます。

次のページに続く

アンテナ内蔵部について

23 アンテナ内蔵部

ワイヤレスLAN機能用のアンテナが内蔵されています。

ステータスバー

液晶画面の下部にあるステータスバーには、本機の状態を表すアイコンが表示されます。ステータスバーに表示されるアイコンについて詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）をご覧ください。

1 **バッテリー残量**
点灯部分の大きさでバッテリーの残量を表します。バッテリー残量が減るに従って、点灯部分が小さくなります。

2 **ワイヤレスネットワークの信号の強さ**
波紋の数が多いほど、接続しているネットワークの信号が強いことを表します。

3 **ワイヤレスLANモード**
インフラストラクチャーモードとアドホックモードのどちらでワイヤレスLANを起動しているかを表します（☞23、27ページ）。

4 **Skype/Google Talk/PLAYLOGの状態**

5 **音量バー**

6 **Ad Hoc Applicationの状態**
ストリーミング再生中に、ストリーミング機能のアイコンと相手のニックネームを表示します。

7 **AVLS**
AVLSは、Automatic Volume Limiter Systemの略です。「AVLS」が「ON」に設定されているときは、音楽再生時に聴覚を傷つけないよう、最大音量が制限されます。音量を一定レベル以上に上げようとすると、AVLSのアイコンが表示され、それ以上音量が上がりません。

8 **HOLDの状態**
HOLD機能で本機の操作が無効になっているとき表示されます。

9 **文字入力モード**
選択されている文字入力モードが表示されます。

10 **Shift/Num/Sym/Fnキーの状態**
Shiftキー、Num（Number）キー、Sym（Symbol）キー、Fn（Function）キーのいずれかが有効になっているとき、そのアイコンが表示されます。

11 **時計**

次のページに続く

キーボードを使う

前面パネルを上へスライドすると、キーボードを使用できます。
本機での文字入力には、全角ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字の5つの入力モードがあります。
ひらがなやカタカナを入力するときは、ローマ字で入力してください。かな入力には対応していません。

入力モードを変更するには

Fnキー＋Space/変換キーを押すたびに、以下の順序でモードが切り換わります。

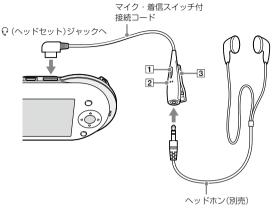
全角ひらがな→全角カタカナ→全角英数字→半角カタカナ→半角英数字→全角ひらがな…

希望のモードを選択したら、入力を始めてください。

アルファベットの大文字、数字、記号を入力するには

修飾キー（Shift、Num、Sym、Fnキー）を押してから、他のキーを押してください。修飾キーを押すと、以下のアイコンがステータスバーに表示されます。2回押すとロックされます。解除するには、そのキーをもう一度押してください。
それぞれのキーの割り当てについては、付属のCD-ROMに収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）をご覧ください。

修飾キー	1回押したときのアイコン	2回押したときのアイコン
Shift	Shift	Shift
Num	Num	Num
Sym	Sym	Sym
Fn	Fn	Fn

ヘッドセットをつなぐ

1 **着信スイッチ**
インターネット電話に出るときや、通話を終了するときに押します。

2 **マイク**
インターネット電話に使用します。

3 **クリップ**
ヘッドセットを服などに固定します。

次のページに続く

“メモリースティック デュオ”(別売)を出し入れする

下図のように“メモリースティック デュオ”を挿入してください。“メモリースティック デュオ”のデータを読み込み中や書き出し中は、“メモリースティック デュオ”アクセスインジケーターが点滅します。

“メモリースティック デュオ”を取り出すときは、“メモリースティック デュオ”をカチッというまで押し込んでから離してください。

ご注意

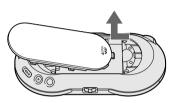
- データが破損するおそれがあるため、“メモリースティック デュオ”アクセスインジケーター点滅中は、“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。

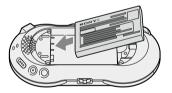
準備1：電源を準備する

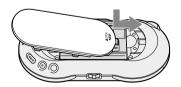
バッテリー（付属）を入れる

使用前に、バッテリーが入っていることを確認してください。

1 バッテリーカバーを開く。

バッテリーカバーの「OPEN」の文字の上に指を置き、矢印の方向へスライドすると開きます。

2 バッテリーを入れる。

ラベル面を上にし、バッテリーの金属部が、本体の金属部と重なるように入れてください。

3 バッテリーカバーを閉める。

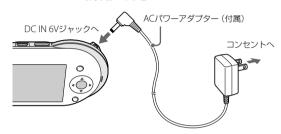
カチッと音がするまでスライドしてください。

次のページに続く

ご注意

- バッテリーの交換は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。電源を入れた状態でバッテリーを取り出すと、データの破損や、本機の故障の原因となります。
- 付属のACパワーアダプター、またはUSBケーブルを接続して使用するときも、必ずバッテリーを入れて使用してください。バッテリーを入れずに使用することは非推奨かつサポート対象外です。
- 専用のバッテリー以外は入れないでください。

バッテリーを充電する

充電するときは、ACパワーアダプター（付属）またはUSBケーブル（付属）を使って、本機と電源を接続してください。
電源と接続すると、自動的に本機の電源が入り、充電が始まります。
充電中は、CHARGEインジケーターとPOWERインジケーターが点灯します。

ACパワーアダプター（付属）で充電するには

充電中は、液晶画面のバッテリーインジケーター（ ）が、充電中のアニメーション表示になります。充電が完了するまで約3時間（電源がOFFのとき）から7.5時間かかります。

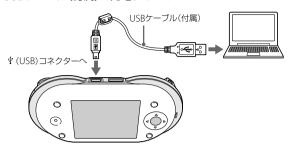
ご注意

- 充電中に本機を使用すると、充電にかかる時間は長くなります。
- 本機が以下のような状態のときは、充電されません。
  - 本体内蔵スピーカーで音楽を聞いている
  - ビデオを再生している
  - 画像を見ている
  - ワイヤレスLANが起動している（チャットやインターネット電話の待ち受け状態は除く）

ACパワーアダプターについて

付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

次のページに続く

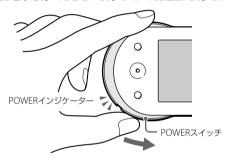
USBケーブル(付属)で充電するには

USBケーブル(付属)で充電するときは、充電が完了するまで約4時間かかります。

ご注意

- USBケーブル(付属)で接続中に、パソコンがパワーセーブモード(スタンバイ状態、スリープ状態、休止状態など)に入ると、本機のバッテリー残量は減っていきます。
- AC電源に接続していないノートパソコンに長時間接続したままにしないでください。パソコンのバッテリー残量が減っていきます。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しても自動的に本機の電源が入らない場合、数分間待ってから、本機のPOWERスイッチをスライドして電源を入れてください(☞21ページ)。
- パソコンとの接続中は、本機の操作はできません。
- USBハブを経由した接続には対応していません。USBケーブルは直接パソコンに接続してください。
- ACパワーアダプターで充電中、「自動パワーオフ」が「しない」に設定されていると、充電が完了するまでに7.5時間以上かかることがあります。
- 充電中に本機を使用すると、充電にかかる時間は長くなります。
- 周囲の温度によって、充電にかかる時間は変わります。また、周囲の温度が 5 ～ 35℃以外の環境では、充電ができないことがあります。

準備2：本機をセットアップする

電源を入れる

POWERインジケーターが緑色に点灯するまで、POWERスイッチを矢印の方向へスライドしたままにします。電源が入り、起動画面が約30秒表示されます。
お買い上げ後、はじめて使用するときは、起動画面が約30秒表示され、続けて初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って初期設定を行ってください。
通常は、前回電源を切ったときに表示していた画面が表示されます。

電源を切るには

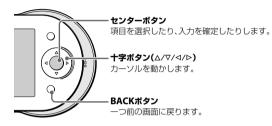
POWERスイッチを矢印の方向へスライドしたままにしてください。電源が切れ、POWERインジケーターが消灯します。

ご注意

- 起動画面の表示中は、ACパワーアダプターを抜かないでください。
- 起動画面表示中、またはHOLDスイッチが「ON」のときは、電源を切ることはできません。
- バッテリーの交換は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。電源を入れた状態でバッテリーを取り出すと、データの破損や、本機の故障の原因となります。
- 付属のACパワーアダプター、またはUSBケーブルを接続して使用するときも、必ずバッテリーを入れて使用してください。バッテリーを入れずに使用することは非推奨かつサポート対象外です。
- 専用のバッテリー以外は入れないでください。

次のページに続く

初期設定を行う

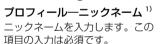
画面の指示に従って、あなたのプロフィールなどを入力してください。「プロフィール」に入力した情報は、Ad Hoc Application（☞37ページ）使用時に、他のユーザーへ公開されます。
各項目の入力には、以下のボタンとキーボード（☞14ページ）をご利用ください。

タイムゾーン
現在地のタイムゾーンを設定します。

⬇

日付と時刻
現在の日付と時刻を設定します。

⬇

プロフィール―ニックネーム [1]
ニックネームを入力します。この項目の入力は必須です。

⬇

プロフィール―自己紹介 [1]
自己紹介などのメッセージを入力します。

⬇

プロフィール―マイカラー [2]
音楽再生時に表示される再生画面の背景色を選択します。

⬇

プロフィール―マイピクチャー [2]
プリインストールされている画像から、顔のアイコンを選択します。

⬇

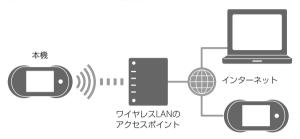
プロフィール―生年月日 [2]

1）これらの情報は、Ad Hoc Applicationを使用している全ユーザーに公開されます。CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「個人情報の取り扱いについて」もあわせてご覧ください。
2）この情報は、個人情報を保護するため、アドホックコンタクトリストに登録されているユーザーのみに公開されます。

ご注意

- これらの項目は初期設定後もToolsメニューから変更できます。
- 日付と時刻が正しく設定されていないと、Webサイトの閲覧ができないことがあります。

ワイヤレスネットワークに接続する－インフラストラクチャーモード

インフラストラクチャーモードは、近くにあるワイヤレスネットワークを使って、インターネットに接続するモードです。

インフラストラクチャーモードでは、以下の機能を使用できます：

– インスタントメッセンジャー
– インターネット電話
– Webサイトの閲覧
– プレイログの送信、PLAYLOGサイトの更新チェック

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webブラウザーでのログインが必要になることがあります。
  選択されたワイヤレスアクセスポイントがWebブラウザーでのログイン操作が必要かどうかを確認するために、本機は自動的に以下のWebサイトへの接続を行います：
  http://www.sony.net/Products/mylo/check/index.html
  このサイトへの接続により、本機からお客様の個人情報やネットワーク情報などが送信されることはありません。このサイトは、本機に登録された情報、その他ユーザーに関するいかなる情報も収集するものではありません。

次のページに続く

ワイヤレスネットワークにつなぐ

1 **WIRELESS LANスイッチを矢印の方向へスライドしたままにする。**
WIRELESS LANインジケーターが緑色に、ステータスインジケーターが青色に点灯します。また、ワイヤレスLAN接続ダイアログが表示されます。

2 **接続したいワイヤレスネットワークを選択する。**
WEP/WPA-PSKセキュリティキーを要求されるワイヤレスネットワークを選択した場合、ワイヤレスネットワークの設定画面が表示されます。画面の表示に従って、接続を完了してください。

ご注意

- 本機は、ワイヤレス規格の無線技術IEEE802.11bに対応しています。
  ネットワーク一覧には、IEEE802.11gのネットワークが表示されることがありますが、このネットワークには接続できないことがあります。ネットワークの状態については、ネットワーク管理者にご確認ください。

設定項目	説明
表示名	ワイヤレスLAN接続ツール（☞43ページ）などで表示されるワイヤレスネットワークの名前を入力します。
SSID	ワイヤレスネットワークにおけるアクセスポイントの識別名。Service Set IDentifierの略。
WEP/WPA	「使用しない」、「WEPキーを使う」、「WPA-PSKを使う」から選択します。
キー	必要に応じて、ワイヤレスネットワークのセキュリティキーを入力します。（セキュリティキーがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。）
IPアドレス	ネットワークがIPアドレスの割り当てサービスを行っている場合、自動的に以下の設定を検知します。 • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイ • DNSサーバーのIPアドレス これらの設定は、手動で設定することもできます。 手動で設定する項目の設定内容がわからないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
Webプロキシ	会社のネットワークなど、ファイアーウォールで保護されたネットワークに接続する場合、プロキシサーバーの使用が必要になることがあります。この設定が必要かどうかわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 「以下のWebプロキシを使用する」を選択した場合、以下の設定を入力できます。 • アドレス（プロキシサーバーのIPアドレスまたはホスト名） • ポート（プロキシサーバーのポート番号）

次のページに続く

自動的にワイヤレスネットワークに接続するには

「ワイヤレスネットワークにつなぐ」のステップ2で、ワイヤレスネットワークの登録を行うと、以下のとき、登録したワイヤレスネットワークへ自動接続します：

- WIRELESS LANスイッチを矢印の方向へスライドした
- ワイヤレスネットワークを使用するアプリケーション（インスタントメッセージ、インターネット電話、Webサイトの閲覧、PLAYLOGなど）を選択した

ワイヤレスLAN接続ツール（☞43ページ）を使うには

ワイヤレスLAN接続ツールでは、以下の操作が行えます：

- ワイヤレスネットワークの登録、接続
- 自動接続時の優先順位の変更
- 登録済みワイヤレスネットワークの削除
- 一覧に表示されないワイヤレスネットワークの登録、接続

ワイヤレスLAN接続ツールは、Homeメニューの「Tools」から「ワイヤレスLAN接続」を選択して、表示します。

ワイヤレスネットワークとの接続を切断するには

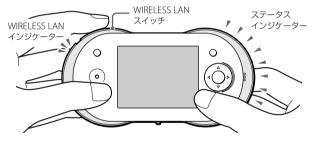
WIRELESS LANインジケーターが消灯するまで、WIRELESS LANスイッチを矢印の方向へスライドしたままにしてください。

友人のmyloと接続する－アドホックモード

アドホックモードは、インターネットに接続することなく、近くにいる他のmyloと通信できるモードです。

アドホックモードでワイヤレスLANを起動する

Communicationメニューから「Ad Hoc Application」を選択すると、ワイヤレスLANがアドホックモードで起動します。WIRELESS LANインジケーターが緑色に、ステータスインジケーターがオレンジ色に点灯します。

次のページに続く

他のmyloユーザーをアドホックコンタクトリストに登録する

ワイヤレスLANがアドホックモードで起動すると、通信範囲内で、アドホックモードでワイヤレスLANを起動中のmyloユーザーが一覧表示されます。

アドホックコンタクトリストに登録したいユーザーを選択してください。登録リクエストがそのユーザーに送られます。そのユーザーがあなたのリクエストを承認すれば、お互いにコンタクトリストに登録されます。

他のmyloユーザーからの登録リクエストを承認する

他のmyloユーザーからの登録リクエストを受信すると、 がステータスバーに表示されます。

1 INFOボタンを押す。

Communicationパネルが表示されます。

2 「開く」を選択し、センターボタンを押す。

確認のダイアログが表示されます。

3 ◁/▷で「OK」を選択し、センターボタンを押す。

相手のユーザーがコンタクトリストに登録されます。

Homeメニュー

Homeメニューは各アプリケーションへの入り口です。
Homeメニューを表示するには、HOMEボタンを押してください。

Homeメニューからアプリケーションを起動するには

△/▽で項目を選択してセンターボタンを押すと、選択したアプリケーションを起動できます。

例：「Music」を選択したとき

OPTIONメニュー

OPTIONボタンを押すと、その画面でできる機能の一覧（OPTIONメニュー）が表示されます。表示されるメニュー項目は、OPTIONボタンを押した画面によって異なります。

ご注意

- OPTIONメニューが表示されない画面もあります。

基本操作

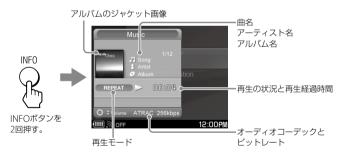
What's Up画面

What's Up画面は、Skype、Google Talk、Ad Hoc Applicationのコンタクトをボックスに登録することで、コンタクトのオンライン状態がわかったり、簡単にコンタクトと通信したりできる画面です。ボックスは90個あります。
複数のIDを持っている友人や、グループをひとつのボックスに登録することができ、そのボックスからIDを選択しコミュニケーションを開始できます。
また、What's Up画面では、再生中の音楽情報も表示されます。
What's Upは、Homeメニューから選択するほかに、HOMEボタンを長押しして起動することもできます。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「What's Up」をご覧ください。

INFO画面

メッセージや登録リクエストなどの新着情報や、再生中の音楽の情報を確認するための画面です。
新着情報を受信した時は、新着情報を示すアイコンが、ステータスバーに表示されます。INFOボタンを1回押すと、新着情報一覧が表示されます。その処理に移りたいときは、∆/∇で処理したい新着情報を選び、センターボタンを押します。画面が切り換わります。

音楽情報を確認したいときは、INFOボタンを2回押します。再生中の音楽の情報が表示されます。

ヒント

- 音楽情報が表示されているときは、十字ボタンで音楽の操作ができます。

Skypeで通信する

Skypeは、インターネットを使ったコミュニケーションツールです。本機では、以下の機能が楽しめます。

- 他のSkypeユーザーと電話する
- 他のSkypeユーザーとテキストでチャットする
- 一般回線に電話する（SkypeOut）[1]
- 一般回線からの電話を受ける（SkypeIn）[1]
- 他のSkypeユーザーへファイルを送る
- 他のSkypeユーザーへボイスメールを送る [1]

[1] SkypeOutやSkypeIn、ボイスメールを使うには、別料金がかかります。

ご注意

- お客様個人として楽しむ以外の目的で他人の著作物を許可なく転送することは著作権法上禁止されています。

Skypeを使う前に

あらかじめSkype名を取得しておく必要があります。
Skype名をすでにお持ちの場合は、本機でそのSkype名を使用できます。
まだSkype名をお持ちでない場合は、以下のステップ1のサインイン画面で「新規作成」を選択して、Skype名を取得してください。

Skypeを起動する

1 Homeメニューの「Communication」から「Skype」を選択する。
サインイン画面が表示されます。

2 Skypeにサインインする。
ワイヤレスLANがインフラストラクチャーモードで起動します。接続が完了したら、Skypeの機能を使えます。
詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Communication－Skype」をご覧ください。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webブラウザーでのログインが必要になることがあります。

Google Talkで通信する

Google Talkは、インターネットを使ったコミュニケーションツールです。本機では、以下の機能が楽しめます。

- 他のGoogle Talkユーザーとテキストでチャットする
- Gmailのサイトにジャンプする

Google Talkを使う前に

あらかじめGmailのアカウントを取得しておく必要があります。
Gmailのアカウントをすでにお持ちの場合は、本機でそのアカウントを使用できます。
Gmailのアカウントをお持ちでない場合は、以下のアドレスから取得できます。
http://www.sony.co.jp/mylo/partners/

Google Talkを起動する

1 Homeメニューの「Communication」から「Google Talk」を選択する。

サインイン画面が表示されます。

2 Google Talkにサインインする。

ワイヤレスLANがインフラストラクチャーモードで起動します。接続が完了したら、Google Talkの機能を使えます。
詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Communication－Google Talk」をご覧ください。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webブラウザーでのログインが必要になることがあります。

PLAYLOGを楽しむ

音楽を通じて人とのコミュニケーションを深めるミュージック・コミュニティサービス「PLAYLOG」（http://playlog.jp/）と連携しています。自分が再生した音楽の履歴（ログ）をワイヤレスLAN経由でパソコンを経由せずにダイレクトにアップできるほか、友人・知人とそのログを共有することができます。

PLAYLOGを使う前に

あらかじめPLAYLOGのサイトで、登録手続きをしてください。
PLAYLOGのアカウントをすでにお持ちの場合は、本機でそのアカウントを使用できます。

PLAYLOGのサイトと連携する

1 Homeメニューの「Communication」から「PLAYLOG」を選択する。
PLAYLOGメニューが表示されます。

2 「IDとパスワード設定」を選択する。
PLAYLOGのサイトであらかじめ登録したID（メールアドレス）とパスワードを入力してください。

3 「プレイログ送信」を選び、表示された選択肢から、「ON」を選ぶ。
再生した曲のログが、PLAYLOGのサイトに、自動的にアップロードされるようになります。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Communication－PLAYLOG」をご覧ください。

Ad Hoc Applicationで通信する

Ad Hoc Applicationでは、ミュージックストリーミング機能（2台のmyloで音楽のストリーミング再生をする機能）を使えます。
この機能を使うためには、あらかじめ以下の登録、設定をしておく必要があります：

- アドホックコンタクトリストに、ストリーミング再生をしたいユーザーを登録する（☞28ページ）。
- 他のmyloでストリーミング再生してもいい曲やプレイリストに「曲の共有設定」を行う。
  「曲の共有設定」は、Homeメニューから、「Tools」－「設定」－「Communication設定」－「Ad Hoc Application」－「曲の共有設定」の順で選択し、最後に、共有したい音楽が保存されたフォルダを選択して終了です。

1 Homeメニューの「Communication」から「Ad Hoc Application」を選択する。

ワイヤレスLANがアドホックモードで起動し、アドホックコンタクトリストが表示されます。

2 通信したいユーザーを選択し、そのユーザーのmyloに保存されている曲を再生する。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Communication - Ad Hoc Application」をご覧ください。

Webを楽しむ

ワイヤレスネットワークを経由してインターネットに接続し、Webサイトを閲覧できます。

1 Homeメニューの「Web」から、「ホームページ」を選択する。

ワイヤレスLANがインフラストラクチャーモードで起動します。接続が完了したら、Webブラウザーが起動します。

2 ページを閲覧する。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Web」をご覧ください。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webブラウザーでのログインが必要になることがあります。

音楽を楽しむ

本機の内蔵メモリーに音楽を転送し、再生して楽しめます。
転送ソフト、ファイル形式、USBモードの関係などの詳細は、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Music」を、本機のフォルダ構成については、本書の☞44ページをご覧ください。

1 本機とパソコンをUSBケーブル（付属）で接続し、本機へ曲を転送する。

本機への転送に利用できるソフトウェアと、対応コーデックは以下のとおりです。

利用できるソフトウェア	• SonicStage（付属） • Windows Media Player 10（本機のUSBモードを「MTP」に設定してご利用ください。） • Windowsエクスプローラ（本機のファイルシステムの最上階層にある「MUSIC」フォルダへドラッグ&ドロップしてください。）
対応コーデック	• ATRAC • MP3 • WMA（Windows Media Audio）

2 Homeメニューの「Music」を選択する。

Musicメニューが表示されます。

3 聞きたい曲を選択して再生する。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Music」をご覧ください。

画像を楽しむ

本機の内蔵メモリーに転送、または“メモリースティック デュオ”に保存した画像を、表示して楽しめます。
転送ソフト、ファイル形式、USBモードなどの詳細は、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Photo」を、本機のフォルダ構成については、本書の☞44ページをご覧ください。

1 本機へ画像ファイルを転送する。または、画像ファイルが保存されている“メモリースティック デュオ”を本機に挿入する。

本機への転送に利用できるソフトウェアと、対応ファイル形式は以下のとおりです。

利用できるソフトウェア	• mylo Image Transfer（付属CD-ROMに収録）（TIFFやGIFの画像も、JPEGやPNGに変換して本機に転送できます。） • Windowsエクスプローラ（本機のファイルシステムの最上階層にある「PHOTO」フォルダへドラッグ&ドロップします。）
対応ファイル形式	• JPEG • PNG • BMP

ご注意

• 画像ファイルを転送するときは、本機のUSBモードを「MSC」に設定してください。

2 Homeメニューの「Photo」を選択する。

画像ファイル／フォルダの一覧が表示されます。

3 見たい画像を選択して表示する。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Photo」をご覧ください。

ビデオを楽しむ

本機の内蔵メモリーに転送、または"メモリースティック デュオ"に保存したビデオファイルを、再生して楽しめます。
転送ソフト、ファイル形式、USBモードなどの詳細は、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Video」を、本機のフォルダ構成については、本書の☞44ページをご覧ください。
本機の内蔵メモリーや"メモリースティック デュオ"にビデオファイルを保存するには、Image Converter 2以降（別売）の使用をおすすめします。

1 本機へビデオファイルを転送する。

本機への転送に利用できるソフトウェアと、対応フォーマットは以下のとおりです。

利用できるソフトウェア	Image Converter 2以降（別売）推奨
対応フォーマット	MPEG-4（メモリースティックビデオフォーマット準拠）

ご注意

- ビデオファイルを転送するときは、本機のUSBモードを「MSC」に設定してください。

2 Homeメニューの「Video」を選択する。

ビデオファイルの一覧が表示されます。

3 見たいビデオを選択して再生する。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Video」をご覧ください。

テキストファイルを作成する

本機でテキストファイルを新規作成するだけでなく、パソコンから内蔵メモリーに転送したテキストファイルや、"メモリースティック デュオ"上のテキストファイルの編集ができます。
パソコンから本機へテキストファイルを転送するには、Windowsエクスプローラを使ってパソコンからドラッグ&ドロップします。

ご注意

- テキストファイルを転送するときは、本機のUSBモードを「MSC」に設定してください。

1 Homeメニューの「Text」を選択する。

テキストファイルの一覧が表示されます。

2 「New」を選択して、新しくテキストファイルを作成する。または、保存されているテキストファイルを選択して編集する。

詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Text」をご覧ください。

ツールでmyloの設定を変更する

Toolsメニューでは、以下の設定ができます。

- 「設定」：時計などの一般設定や、ネットワークの設定、各アプリケーションの使用環境の設定。
- 「ワイヤレスLAN接続」：ワイヤレスネットワークの管理。
- 「ファイルマネージャー」：本機の内蔵メモリーや"メモリースティック デュオ"に保存されているフォルダやファイルの管理。
- 「ユーザー辞書」：日本語の変換時、変換候補に表示させる語句の登録・管理。
- 「Drop Box」：Skypeのファイル転送機能を使って受信したファイルの管理。
- 「システムアップデート」：本機のソフトウェアのアップデート。
- 「システム情報」：本機のMACアドレスとソフトウェアのバージョン表示。

1 Homeメニューの「Tools」を選択する。

Toolsメニューが表示されます。

2 設定したい項目を選択する。

設定項目について詳しくは、CD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）の「Tools」をご覧ください。

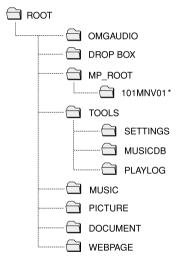
ヒント

- mylo本体のソフトウェアを、常に最新のバージョンにアップデートしてお使いになることをおすすめします。
  アップデートの情報、アップデートファイルのダウンロードとも、以下のアドレスでご案内しています。
  http://www.sony.co.jp/mylo/support/

フォルダ構成について

本機の内蔵メモリーや"メモリースティック デュオ"のフォルダ構成は以下のとおりです。

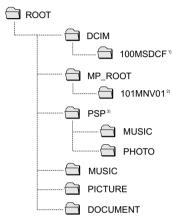
内蔵メモリーのフォルダ構成

ファイルの種類や、転送に使ったソフトウェアや機能に従って、以下のフォルダに保存されます。

* フォルダ名称は例です。メモリースティックビデオフォーマットの規則に従ってフォルダが作成されて名前が付けられます。

ファイルの種類/転送ソフトウェア/機能	フォルダ
SonicStageで転送された音楽ファイル	「OMGAUDIO」フォルダ
Windows Media Player 10またはWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)で転送された音楽ファイル	「MUSIC」フォルダ
mylo Image Transfer (付属)またはWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)で転送された画像ファイル	「PICTURE」フォルダ
Image Converter 2以降(別売)などで転送されたビデオファイル	「MP_ROOT」フォルダ
本機で作成した、またはWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)で転送されたテキストファイル	「DOCUMENT」フォルダ
Skypeのファイル転送機能で転送されたファイル	「DROP BOX」フォルダ
mylo Toolsで転送されたWebのブックマーク	「WEBPAGE」フォルダ

次のページに続く

“メモリースティック デュオ”のフォルダ構成

本機で“メモリースティック デュオ”を使うとき、以下のフォルダを使用できます。
ファイルの種類や、転送に使ったソフトウェアや機能に従って、以下のフォルダに保存されます。

[1] フォルダ名称は例です。DCF規格に従ってフォルダが作成されて名前が付けられます。

[2] フォルダ名称は例です。メモリースティックビデオフォーマットの規則に従ってフォルダが作成されて名前が付けられます。

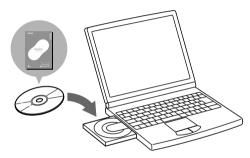
[3] 「PSP」フォルダ内の「MUSIC」フォルダや「PHOTO」フォルダには、プレイステーション・ポータブルで“メモリースティック デュオ”使用時に保存された音楽ファイルや画像ファイル（または、それらが含まれているフォルダ）が表示されます。

ファイルの種類/ソフトウェア/機能	フォルダ
Windowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)で転送された音楽ファイル	「MUSIC」フォルダ
プレイステーション・ポータブルで保存された音楽ファイル	「PSP」フォルダ内の「MUSIC」フォルダ
mylo Image Transfer (付属)またはWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)で転送された画像ファイル	「PICTURE」フォルダ
デジタルカメラで保存された画像ファイル	「DCIM」フォルダ
プレイステーション・ポータブルで保存された画像ファイル	「PSP」フォルダ内の「PHOTO」フォルダ
Image Converter 2以降(別売)などで転送されたビデオファイル	「MP_ROOT」フォルダ
本機で作成した、またはWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)で転送されたテキストファイル	「DOCUMENT」フォルダ

CD-ROM（付属）について

CD-ROM（付属）には、「リファレンスマニュアル」（PDFファイル）とソフトウェアが収録されています。これらのファイルをCD-ROMからパソコンにインストールできます。

「リファレンスマニュアル」（PDF）について

「リファレンスマニュアル」は、本機の使用方法の詳細を説明しているPDFファイルです。PDFファイルを見るには、Adobe Reader（無償）をパソコンにインストールしてください。

付属ソフトウェアについて

SonicStage

SonicStageは、音楽ファイルの管理をするためのソフトウェアです。本機への音楽ファイル転送用に付属しています。

SonicStageへの音楽ファイルの取り込みには、以下の方法があります：

- 音楽CDから曲を取り込む
- 音楽サービスサイトから曲を購入しダウンロードする
- パソコンに保存してある曲を取り込む

SonicStageを使って、CD-RやCD-RWでオリジナルのCDを作ることもできます。

mylo Utility

mylo Utilityは、mylo専用のソフトウェアです。
myloへのデータ転送をはじめ、myloのデータ管理にお使いください。

- mylo Launcher
  このソフトウェアから、SonicStageやmylo Image Transfer、mylo Tools、Image Converter 2以降(別売)を起動できます。
- mylo Image Transfer
  このソフトウェアを使って、画像をパソコンから本機へ転送できます。画像を、マイピクチャーや壁紙として利用したいときは、「マイピクチャーを転送」、「壁紙を転送」を選択し、変換、転送してください。
  画像フォーマット(JPEGファイル、BMPファイル、GIFファイル、PNGファイル、TIFFファイル)に対応しています。ただし、GIFファイル、TIFFファイルは、JPEGファイルやPNGファイルに変換されて転送されます。
- mylo Tools
  以下の機能があります：
  - 本機のソフトウェアをアップデートする
  - 本機のデータをバックアップ／復元する
  - 本機のワイヤレスネットワークの情報を編集・管理する
  - ブックマークを転送する
  - マイピクチャー、壁紙用に画像を変換して、転送する
  - ユーザープロフィールの情報を編集・転送する

次のページに続く

付属ソフトウェアの動作環境

- コンピューター
  IBM PC/AT互換（ソフトウェアはMacintoshには対応していません。）
- CPU
  Pentium III 450 MHz以上
- メモリ
  128 MB以上
- ハードディスクドライブ
  200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。（必要な空き容量は、Windowsのバージョンや本機に保存するファイルのサイズによって異なります。）
- USBポート（Hi-Speed USB推奨）
- CD-ROMドライブ
  WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。また、音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。
- サウンドボード
- OS
  Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/Windows XP Media Center Edition/Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional（Service Pack 3以降）（日本語版標準インストールのみ）

  本ソフトウェアは、以下の環境での動作保証はいたしません。
  - NEC PC-98シリーズとその互換機、またはMacintosh
  - Windows XPのHome Edition/Professional/Media Center Edition/Media Center Edition 2004/Media Center Edition 2005以外のバージョン
  - Windows 2000のProfessional以外のバージョン
  - Windows Millennium Edition
  - Windows 98/Windows 98 Second Edition
  - Windows NT
  - Windows 95
  - 自作PC
  - 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
  - マルチブート環境
  - マルチモニタ環境
- ディスプレイ
  ハイカラー（16ビットカラー）以上、800×600ドット以上（1024×768ドット以上推奨）
- その他
  - 音楽CDのデータベースサービス（CDDB）を利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
  - インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境とMicrosoft Internet Explorer5.5以上がインストールされた環境が必要です。
  - WMAファイルを再生する場合は、Windows Media Player7.0以上がインストールされた環境が必要です。

ご注意

- パソコンがスタンバイ状態やスリープ状態、休止状態から復帰しても、本機とパソコン間の通信が復帰しないことがあります。パソコンが自動的にスタンバイ状態やスリープ状態、休止状態に入らないよう、パソコンの電源オプションを設定しておくことをおすすめします。

「リファレンスマニュアル」と付属ソフトウェアをインストールする

以下の操作に従って、「リファレンスマニュアル」(PDFファイル)とソフトウェアをインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)をCDドライブに挿入する。
インストールメニュー画面が表示されます。

2 [SonicStage/mylo Utilityインストール]をクリックする。

3 使用許諾をよく読み、「はい」をクリックする。

4 画面の指示に従って、インストールを完了する。
「リファレンスマニュアル」(PDFファイル)とソフトウェアがインストールされます。「リファレンスマニュアル」とmylo Launcherのアイコンがパソコンのデスクトップ上に表示されます。

「リファレンスマニュアル」(PDFファイル)だけをインストールするには

上記手順2で、[ハードウェア操作ガイド(PDF)をインストールする]をクリックしてください。

次のページに続く

付属ソフトウェアを起動する

以下の操作に従って、ソフトウェアを起動してください。ソフトウェアの操作方法について詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 パソコンのデスクトップ上の (mylo Launcherのアイコン)をダブルクリックする。

mylo Launcher画面が表示されます。

2 起動したいソフトウェアをクリックする。

[スタート]－[プログラム]－[mylo Utility]－希望のソフトウェアの順でクリックしても起動できます。

インストールできないときはーQ&A

Q1 **パソコンは動作環境を満たしていますか？**

A1 パソコンの動作環境をチェックしてください（☞50ページ）。

Q2 **管理者権限でログインしていますか？　または、インストールを始める前に、他のプログラムを終了しましたか？**

A2 Administrator権限でログインしてください。
インストールを始める前に、ウィルス対策ソフトなどタスクトレイに常駐しているプログラムも含め、すべてのプログラムを終了させてください。

Q3 **パソコンにインストールしてあるウィルス対策ソフトを無効にしていますか？**

A3 インストール時には、ウィルス対策ソフトを無効にしてください。その際は、インストールが完了するまで、パソコンのネットワークケーブルを外し、インターネット接続しないことをおすすめします。
ウィルス対策ソフトを無効にしたままにしておくと、パソコンがウィルスやスパイウェアに感染してしまう可能性がありますので、インストール完了後は、必ず元の設定に戻してください。

Q4 **インストールプログラムは自動的に起動しましたか？**

A4 CD-ROMを挿入したとき、インストールプログラムが自動的に起動しなかった場合は、Windowsのタスクバーから[スタート]－[マイコンピュータ]の順にクリックし、CDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。インストールプログラムが起動します。

Q5 **インストールウィンドウのプログレスバーは動いていますか？また、CDドライブのアクセスランプは点滅していますか？**

A5 プログレスバーが動いていて、ランプが点滅しているときは、インストールが進行中です。インストールが完了するまでお待ちください。

まだ問題が解決しないときは

以下のアドレスをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/mylo/support/

安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果、大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告 この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意 この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや、財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

破裂

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

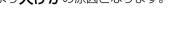
水ぬれ禁止

行為を指示する記号

指示

火災　破裂　感電

運転中は使用しない。

禁止

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- 歩きながら使用するときは、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電、故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーを取り出してください。
ACパワーアダプターや接続しているコード類も抜いて、ネットコミュニケーションカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。そのままパソコンに接続すると、パソコンの故障の原因にもなることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。

接触禁止

感電の原因となります。

ACパワーアダプターや電源コードを傷つけない。

禁止

コードが傷ついたまま使うと、火災や感電の原因となります。容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

- 加工しない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 物を載せない。引っ張らない。
- 電源コードを抜くときは、プラグを持ってまっすぐ抜く。

指定以外のACパワーアダプターおよびバッテリーパックを使用しない。

禁止

火災や感電の原因となります。

次のページに続く

⚠警告 下記の注意事項を守らないと医療機器などを誤動作させるおそれがあり、事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANインジケーターが点灯していたら、WIRELESS LANスイッチをスライドし消灯させてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22㎝以内で使用しない

WIRELESS LANインジケーターが点灯していたら、WIRELESS LANスイッチをスライドし消灯させてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANインジケーターが点灯していたら、WIRELESS LANスイッチをスライドし消灯させてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANインジケーターが点灯していたら、WIRELESS LANスイッチをスライドし消灯させてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WIRELESS LANインジケーターが点灯していたら、WIRELESS LANスイッチをスライドし消灯させてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。

はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。
ボリュームは徐々に上げましょう。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

長時間使いすぎない

- 長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
  使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。
- ヘッドホンを使用中、肌にあわないと感じたときは早めに使用を中止して医師に相談してください。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

本機の通信機能は国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機の通信機能を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

車内など直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。

分解禁止

持ち運びのときに振り回さない

ストラップをご使用の場合は、本体を振り回さないようにご注意ください。本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりすると故障やけがの原因となります。

禁止

本機を火の中に入れない

発火・破裂・故障・火災の原因となります。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強い衝撃を与えない

重いものを載せる、投げる、落とす、踏みつけるなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となります。特に、ズボンなどのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中に重い荷物と一緒に詰め込んだりすると、予想以上に大きな力が加わりますので、おやめください。

幼児の手の届かないところに置く

"メモリースティック デュオ"などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりして、事故やけが、故障の原因となります。

クレジットカードや定期券などの磁気製品を近づけない

本体にはスピーカー用の磁石が内蔵されているため、磁気製品の記録に影響を与えることがあります。

自動車内では通信機能の使用に注意する

まれに車種により車両電子機器に影響を与える場合があります。自動車内でご使用になる場合はご注意ください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは通信機能は使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

この製品はリチウムイオン式充電池を使用しています。
漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

⚠危険

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 分解や改造をしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯、保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車内、熱器具の近くなど高温の場所に置かない。
- 指定されたACパワーアダプター以外で充電しない。
- 液体にぬらさない。ぬれた状態のまま使わない。

⚠警告

- 指定以外のバッテリーを使わない。
- 落とす、重い物を載せる、圧力をかけるなど、強い衝撃を与えない。
- 傷つけない。傷ついたときは、使わない。
- 幼児の手の届かないところに置く。
- 長時間使わないときやお手入れをするときは、本体から取りはずす。
- バッテリーはバッテリーケース（付属）に入れて持ち歩く。

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
液が本体内部に残ることがあるため、ネットコミュニケーションカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になった電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

次のページに続く

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際には、所定事項をご記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは、まずチェックを

1 本書とCD-ROM（付属）に収録されている「リファレンスマニュアル」をもう一度ご覧になってお調べください。

- 「リファレンスマニュアル」の「故障かな？と思ったら」の各項目を参考にして故障かどうかお調べください。
- また音楽ファイルなどの転送に使用しているソフトウェアのヘルプもご活用ください。

2 myloに関する最新サポート情報、よくあるお問合せとその回答が下記アドレスからご確認いただけます。

http://www.sony.co.jp/mylo/support/

3 それでも問題が解決しない場合は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクにお問合せください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク修理窓口：0466-30-3080

- 担当オペレーターが対応し、修理が必要と判断された場合は、引取修理をさせていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは

1 mylo専用カルテと筆記用具をご用意ください。

- mylo専用カルテは本機に付属しています。紛失した場合は、以下のアドレスからダウンロードすることができます。
  http://www.sony.co.jp/mylo/support/
- 筆記用具は、修理を受け付ける際にお伝えする修理受付番号をひかえていただくために必要です。

2 ネットコミュニケーションカスタマーリンクにお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。

- 修理窓口にお電話いただく場合の通話料は、お客様のご負担となります。

3 修理が必要と判断した場合は、修理の受付をさせていただきます。

- 修理受付の際に、修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのmylo専用カルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間については、オペレーターがご希望をお伺いしますが、地域また時期によってはご希望に添えず調整させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

4 ソニー指定の配送業者がお客様宅まで、お約束の日時に修理品を引き取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- mylo修理品本体
- mylo専用カルテ
- 保証書
- 必要な付属品類

5 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅までお届けいたします。

- 有償修理の場合、修理代金のお支払いについては修理完了品お届けの際に現金にてお支払いいただくか、カードによる翌月一括支払いのいずれかとなります。

* カード支払いにつきましては、ネットコミュニケーションカスタマーリンクに直接修理依頼された場合に限ります。
修理品をお出しになる際に、あらかじめmylo専用カルテに必要事項をご記入ください。

部品の保有期間について

当社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を、修理可能の期間とさせていただきます。

部品の交換について

ソニーでは、修理対象機器を長期にわたり修理可能とし、また環境保護等を推進するため、修理の際に再生部品または代替品を使用することがあります。また修理で部品を交換する場合、修理対象機器に搭載されていた部品は、ソニーが回収させていただきます。

ご注意

- 修理を依頼されるときには、本機のシリアルナンバーが必要です。シリアルナンバーは、本体バッテリーケース底面のラベルに書いてあります。また、このラベルははがさないでください。

商標とソフトウェアについて

- “mylo”、mylo はソニー株式会社の商標です。
- SonicStage、およびそのロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
- OpenMG、“MagicGate”（“マジックゲート”）、“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲートメモリースティック”）、“MagicGate Memory Stick Duo”（“マジックゲートメモリースティック デュオ”）、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、“Memory Stick PRO”（“メモリースティックPRO”）、“Memory Stick Duo”（“メモリースティック デュオ”）、“Memory Stick PRO Duo”（“メモリースティックPRO デュオ”）、MEMORY STICK ™、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Lossless、eco infoおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 「プレイステーション」および“PSP”は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、およびWindows Media は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe,Inc. United States Patent 6,304,523.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the“Powered by Gracenote”logo are trademarks of Gracenote.
- 本機はFraunhofer IIS and ThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、MPEG-4 VISUAL規格に合致したビデオ信号（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードする用途に限りライセンスされています。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

- This product contains browser technology ("Opera Browser") licensed from Opera Software ASA (www.opera.com). (Opera®Browser from Opera Software ASA. Copyright 1995-2006 Opera Software ASA. All rights reserved.)

  The Expat included in the Opera Browser is covered by the following license:

  Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

  Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

  THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" , WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

  The Opera Browser includes the Zlib compression library, developed by Jean-loup Gailly and Mark Adler. Copyright © 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

  The Opera Browser includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. Copyright © 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.

  THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT ORITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

次のページに続く

The Opera Browser contains cryptographic software written by Eric Young.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Number-to-string and string-to-number conversions are covered by the following notice:

The author of this software is David M. Gay.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

The Opera Browser includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.
  Content providers are using the digital rights management technology for Windows Media contained in this device ("WM-DRM") to protect the integrity of their content ("Secure Content") so that their intellectual property, including copyright, in such content is not misappropriated. This device uses "WM-DRM software to play Secure Content ("WM-DRM Software"). If the security of the WM-DRM Software in this device has been compromised, owners of Secure Content ("Secure Content Owners") may request that Microsoft revoke the WM-DRM Software's right to acquire new licenses to copy, display and/or play Secure Content. Revocation does not alter the WM-DRM Software's ability to play unprotected content. A list of revoked WM-DRM Software is sent to your device whenever you download a license for Secure Content from the Internet or from a PC. Microsoft may, in conjunction with such license, also download revocation lists onto our device on behalf of Secure Content Owners.
- 本製品には、Skypeソフトウェアが実装されています。
  Copyright © 2003-2006 Skype Limited Patents Pending, Skype Limited
  "Skype"、"SkypeIn"、"SkypeOut"の名称､関連するロゴおよび"S"のシンボルは、Skype Limitedの商標です。
  Portions Copyright © 2001-2006 Joltid™ Limited.
  All rights reserved.
  Patents Pending, Joltid Limited.
  http://www.joltid.com
  この製品はTrinity Convergence社のVeriCall Edge™技術を使用しています。
  著作権 © 2004-2006 Trinity Convergence Inc.
  著作権所有。
  詳細については, http://www.trinityconvergence.comをご覧ください。
  警告: 本プログラムは著作権法および国際条約で保護されています。
  本プログラムまたはその一部を許可なく複製または配布すると､厳重な民事・刑事処罰の対象となり､適用法で認められる最大限の範囲で告訴される可能性があります。
- The G.729 speech compression algorithm contained in this equipment uses patented technologies belonging to France Telecom, Mitsubishi Electric Corporation, Nippon Telephone and Telegraph Corporation, Université de Sherbrooke and NEC for which Licensee has obtained a license.
- その他のシステム名､製品名は､一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお､本文中では™、®マークは明記していません。